

平成 25 年 9 月 17 日

9 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は雨が多く作業は遅れ気味。新材に切り替わり、良質材の入荷も見られるが、入荷量は減少している。荷動きはスギが製品の動き良い柱材に引合強く、中目材も好転。ヒノキは柱材・土台取りが引続き好調で中目材も急速に引合が強まる。スギ価格は構造材製品の荷動き活発で、柱材は強含み、中目材は強保合で推移。ヒノキは柱材・土台取りが強含み、中目材は急伸。群馬の製材工場の操業状況はほぼフル操業。原木の入荷は全般に秋雨や価格低迷により出材が鈍化。製品の販売は公共物件主体に高水準。県単の家づくり補助が順調で、公共物件の仕事と重なり、オーバーフロー気味。原木の供給増がないと価格急騰で採算割れの懸念。

2. 米材

7 月の米国新設住宅着工は前月比 5.9%増の年率 89.6 万戸。米国丸太は、前月同様国内での製品価格の下落で価格は弱含み。カナダ丸太はオールドが無い高で強く、セカンドは保合。産地の港頭在庫は、伐採量は変わらないが出荷量が若干減少で、在庫量は多少増加傾向。ウェアハウザー社の 9 月積み米マツ IS ソートは 10\$ ダウンで推定 830\$。米材丸太の入・出荷、在庫とも横這。国内大型港湾製材工場の 9 月の荷動は堅調だが前月よりやや減少。内陸部製材工場の荷動は、バラツキあるものの総じて低調で当用買い続く。

米製材品の TLT(東京木材埠頭) 8 月入荷量は 38.9 千 m^3 で、前月比 1.2%減。出荷量は 34.5 千 m^3 で同 14.2%減、在庫量は同 6.4%増。産地情勢は山火事シーズンもほぼ終わり、降雪までの間は順調な伐採が行われるが、輸出用丸太の引合が強いことから、国内工場向け丸太が過剰となることは考えにくい。SPF の J グレードの 4QTR の交渉では、サプライヤーの価格提示が前回より \$10/千 BM 値下げ。米マツ角や割物にも値下げの圧力強い。米国内製材品相場もここ 1 ヶ月間保合状態続く。先行きは問屋、小売、プレカット等各流通段階で在庫を十分確保しており、相場も天井感があるため荷動きは鈍く、9 月もこの状態が続くと予測。

3. 南洋材

サバは、断食が終わり天候も回復したので出材・製材が活発化しても良い状況だが、世界的な景気低迷のため、相変わらず製材工場・バイヤーとも当用買い、様子見が続き、相場は原木・製材品ともに保合。原木供給が大幅減少のため、日本側が買いに戻れば、強含みになる可能性あり。

サラワクは市況低迷でバイヤーの当用買いが続き、シッパーサイドも減産や在庫調整続く。途上国向け低質材は弱含みで、日本向け良質材は供給少なく保合続く。PNG・ソロモンは原木・製品共に出荷減。

南洋材丸太の入・出荷、在庫とも横這。原木の販売は合板用、製材用とも変化なし。製材品、特にインドネシア集成材は、現地価格が高騰したままで、日本側の買い付けは進まず大幅な入荷減。国内相場は保合。平割類の引合は増えつつある。

4. 北洋材

ロシア極東は8月以降雨が多く、アムール川の水位が高くなり、伐採に影響が出ている模様。日・中ともに9-10月配船は購買計画があるため、出材が改善されなければ急激にタイトになる可能性。水位は下がりつつあるが、1-2週間の動向に注目。シベリア材は夏季の配船皆無で、伐採開始は10月以降、配船は早くとも12月以降。

富山新港の8月丸太入荷量は3千 m^3 （エゾマツ3千 m^3 、カラマツ0、アカマツ0）、製品は4千 m^3 。価格動向は、丸太は横這い、アカマツ現地挽き完成品は動き低調で価格弱含み。荷動は丸太、製材品とも低調。在庫状況は1.5~2ヶ月位。国内製材工場はエゾマツ、アカマツとも不採算続く。稼動状況は採算合わず生産調整。

5. 合板

原料丸太のうち国産材は針葉樹合板の生産増が続き、強含み状態は変わらず。南洋材も原木事情が引続き厳しく強含み。米材も国内需要旺盛のため、強気のまま推移。7月の国内合板生産量24.6万 m^3 のうち、針葉樹合板は23.1万 m^3 で過去最高。出荷量は22.7万 m^3 と多く、在庫量も14.1万 m^3 で依然低水準。販売価格は、出荷量が依然絶好調であるが、震災直後の価格が一つの指標と考えられており、それに近づいていることから、今後の需要動向にもよるがほぼ天井感。

国産針葉樹合板は高値安定。8月前半までは鈍い動きだったが、お盆明け早々活発な荷動きとなっている。市場では12mmが不足感。輸入合板の荷動きは若干回復傾向だが一部盛り上がり欠ける状況。先行き針葉樹合板は、直需系中心に旺盛な需要に支えられ、今後ともネダノン系に生産がシフトすると見られ、

12mm で不足懸念。輸入合板は引続き港頭在庫が一杯で、実需の到来が待たれる状況。7月の輸入合板入荷量は31.2万m³で減少の気配は無いが、12mm中心のマレーシアからは13.0万m³と今年最低値。

6. 構造用集成材

原料ラミナは順調に入荷。日本着価格は12月まで上昇。次期4QTRは9月の交渉となるが、ユーロは高値で推移しており、原料価格は下げの傾向。国産集成材の受注は、仮需によりプレカット向け梁集成材の在庫が7月まで増加したが、8月以降は在庫調整が進み、9月の荷動きは横這又は若干減少。10月以降は引合増加する見込み。販売先行きは、梁集成材が年末にかけて動き良く、WW間柱は年内在庫があり、一部の問屋からは投げが出ている模様。輸入集成梁は7-9月現地積みが高値オファーのため契約は激減し入荷は減少。

大手ハウスメーカーの受注は好調で、対前年同期比12%増加。住宅メーカーの受注は9月がピークで、着工は10-11月がピークと予測され、年明けからは落ち込むとの見方多い。

7. 市売問屋

国産材の構造材は、スギKD柱角の荷動き好調で、入荷も安定しており先行き見通しは良好。ヒノキ土台は若干入荷薄で、動きもまざるまざる。造作材は、スギ内装用は前月同様リフォーム用で小口な動き。建具材はスギ桁平割に仕入れ意欲。

外材の構造材は、米ツガ小角類、割物入荷少なく動き良い。造作材はスプルー、米ヒバの桁平割が好調、ピーラーはここに来て一服。盆明け以降は来場者数が増え、仕入意欲も増加しつつある。秋需を見込み広葉樹や特殊材の引合増加。先行き楽観できずとも明らかに風向きが変わった。

8. 小売

国産材の構造材はスギKD柱、小割、板割、ヒノキKD柱、土台いづれも保合。外材はロシアアカマツKD野縁が保合、ベイツガKD角、平割り、SPFはともに保合。造作材はスプルー、ピーラー平割強保合。WW、RW集成材は梁、柱とも保合。合板は針葉樹、ラワンとも保合。プレカット工場の動向は、見積り・加工ともに順調。毎月価格上昇があったが9月分は据え置き状況。工務店の仕事は幾分回復してきている。新築も消費税導入までの受注が数件出てきた。住宅利用ポイント関連では新築を今月上棟したが提出書類が難しい。

9月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	↗
北洋材	丸太	↘	→	↘
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→	↘	↘

矢印の表示は本月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↗	↘	↘	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	↗
			スギ中丸太(3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材(3m) 2等	↗
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	↗
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×4m	→
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↘
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ カスケード(カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8'' 13'	↘
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	→
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品		産地価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m) 特等	→
			アカマツ(3.0×4.0×4m) 特等	→
			カラマツ(10.5×10.5×4m) 特等	※
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↓
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↘
	スギ 無化粧		↘	
	欧州産	〃	10.5×10.5×2.98m	↘
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗